

平成23年度 専門課程 地域防災GIS〔地震災害〕研修 実施計画書

測量部
環境・防災情報研修官

1. 研修目的

地震防災及び地震に伴う災害への対応においては、地震動予測地図、揺れやすさマップ、被災地一覧図など、様々な地図を使用する。これらの地図は、GISを用いてデータの可視化や共有を進めることが有効である。そこで、GISを利用して、防災計画の策定、液状化対策、発災後の救援活動、道路やライフラインの復旧など、地震防災及び地震に伴う災害に迅速かつ効果的に対応できる能力を修得させることを目的として、次の各項目について研修を行う。

- ①地震関連の地域防災、災害対応等において地理空間情報が果たす役割について、具体例を示して理解させる。
- ②GISの基本的な操作手法を修得させる。
- ③地域防災、災害対応等におけるGISの効果を課題研究を通じて理解させ、業務処理能力の向上を図る。

2. 対象職員

国土交通省、他省庁、都道府県、政令指定都市、特別区、市町村、独立行政法人等又は団体の職員で、主に地震災害関連の防災計画、災害対応等に係る業務担当部署において、GIS、地理空間情報を取り扱う者

3. 研修期間

A：平成24年2月20日（月）～2月28日（火） 9日間

B：平成24年2月23日（木）～2月28日（火） 6日間

ArcGISの操作に習熟している者（中級程度）または本校の他のGIS研修においてGIS実習（ArcGIS）を受講済みの者に限り、B日程での参加を可とする。

4. 研修場所

国土交通大学校 小平本校（〒187-8520 東京都小平市喜平町2-2-1）

5. 研修定員

区分	国土交通省	他省庁	地方公共 団体	独立行政 法人等	団体	計 (人)
平成23年度計画	9	2	8	2	2	23

6. カリキュラム

(1) 計画要旨

①基本科目

地震、津波関連の地域防災、災害対応等に関する諸問題について現状を認識させ、それらに対する行政における施策、対策等について理解させる。

②専門科目

G I S の概念、G I S によるデータの解析手法等を修得させるとともに、地域防災、災害対応等に関する地理空間情報の専門的知識及び取り扱い方法を修得させる。

③課題研究等

実習を通じて専門科目の内容を確実に修得させ、さらに ArcGIS を用いた課題研究において、具体的な課題を与えて地域防災及び災害対応への G I S の効果を理解させ、業務処理能力の向上を図る。

(2) 科目別内訳

区 分	基本科目	専門科目	課題研究等	その他	計(時間)
A 日程	3.0	12.0	29.5	2.0	46.5
B 日程	3.0	7.5	14.5	0.5	25.5

・ 詳細については別紙のとおり。

7. その他

テキスト代 (書籍・印刷物) A 日程 8,000 円程度 B 日程 6,000 円程度